

第 14 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会（建設部会）議事録（要旨）

会議名	第 14 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会（建設部会）
日 時	平成 19 年 2 月 19 日（月）午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分
場 所	若杉小学校 会議室
出席者	統合協議会建設部会委員 20 名（委員 8 名欠席）
事務局	8 名（学校適正配置担当課長、営繕課長、学校適正配置担当係長、校舎改築担当係長、担当職員 4 名）、設計事務所 4 名
傍聴者	2 名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 資料説明 3 質疑応答 4 事務局からの連絡事項 5 閉会
資 料	<p>資料 1：配置検討案（A-1，A-2，A-3，C-1，C-2）</p> <p>資料 2：改築校のエコスクール化概要</p> <p>資料 3：樹木位置図</p>

1 開会

2 資料説明

【説明】資料1：配置検討案（A-1，A-2，A-3，C-1，C-2）

【説明】資料2：改築校のエコスクール化概要

【説明】資料3：樹木位置図

3 質疑応答

<学校適正配置担当課長>

本日校庭に白線を2本引きました。この若杉小学校の校庭は2,400㎡ですが、一本目の白線までですと2,200㎡、二本目の白線までですと2,000㎡となります。校庭の大きさのイメージをつかむために参考にしていただければと思います。

また、今日遅れて出席される委員の一人から事前にご連絡をいただきました。これから体育倉庫や遊具が校庭に配置されることを考えると、校庭が一番広いA-2案を推したいということです。

<委員>

前回C案で4階建てまである案があったと思いますが、C案で4階建てがなくなったのはなぜですか。

<学校適正配置担当課長>

現在3階建てで、校舎が建っておりますが、これが4階建てということになりますと、北側の近隣住民の方々との調整が難しくなると考えます。そのため、4階がある部分は近隣への日影の影響の少ない南側の方へ持っていきます。

<委員>

A案は3案とも全部、北側の階段が3階までしかありませんが、これは4階まで伸ばせませんか。

<学校適正配置担当課長>

日影の関係がございしますが、北側の4階までつけることは可能かと思えます。普通教室の東西両側にも階段はついており、校舎内の階段と合わせて、4方向に避難できます。

<委員>

東側の階段や校庭に隣接している部分のウッドデッキの柱については、もっと工夫すれば校庭が広くとれるのではないかと思います。

<委員>

C-2案ですと2階に1, 2, 3学年、3階に4, 5, 6学年が配置されており、3学年と4学年が分断されてしまいますが、これは教育上支障はないでしょうか。

<若杉小校長>

低学年、中学年、高学年という分け方で一緒に活動することもありますので、そういった教室の分け方が望ましいですが、単学級ではなく、複数学級ある学校であればそういったことは薄れてくるかと思えます。これまでも2階に1, 2, 3年生、3階に4, 5, 6年生というように教室を配置している学校は多くありますので、それによって教育活動が滞るとまではいかないと考えます。

<杉並第五小校長>

2学年が一緒に活動するということになると、教室ではなく、別の場所で活動することになると思います。そういった意味では、必ずしも3, 4学年が同じ階になければならないということはないと思います。

<委員>

トイレとこだま学級が離れている案がありますが、これはよろしいのでしょうか。

<設計事務所>

こだま学級の中には専用のトイレをつくります。

<委員>

生活科室とはどういった授業に使うのですか。

<若杉小校長>

生活科とは体験学習で、3年生以上の総合学習の時間と同じような扱いとなります。1, 2年生にだけ設定されている科になります。

<委員>

生活科は普通教室やオープンスペースではできないのですか。

<若杉小校長>

可能ですが、たとえばダンボールを使って何かをつくるとか、資料を広げて調べ学習をするとか、大きくスペースを使いますので、案にあるように1、2年生の教室の間に生活科のスペースを確保していただくと、非常に授業の展開がしやすいと考えます。もちろん、多目的室や調べ学習室を使って生活科の授業を行うことは可能です。

<委員>

地下には給食室とランチルームがあり、音楽室は結局入っておりませんが、なぜですか。

<学校適正配置担当課長>

給食の配膳や片付けを考えますとランチルームは給食室の近くに配置するのが合理的かと思えます。また、給食室は音や匂いが出ますので、あまり給食室の近くに教室を置くのは望ましくないと考えます。

<委員>

給食関係の方のお手洗いはどうなりますか。

<学校適正配置担当課長>

給食室の中にトイレ、シャワーなど全て付いております。休憩室も給食室の中に含まれます。衛生管理は非常に厳しく、外部の人間は給食室には入ることができません。逆に給食室の人間が外部のトイレを使用するというのもございません。

<委員>

北側の通用門ですが、A-1案のように横断歩道の近くに門があれば、児童がたまったり信号待ちをしたりすることができますが、他の案のように横断歩道よりも東側にずれて門があると、安全上どうかと思います。

<部会長>

詳細な部分については後の段階で変更可能ですので、そういった意見があったというところ

に今はとどめさせていただきます。

ここで皆様、建物の大まかな配置についてご意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

<杉並第五小校長>

統合新校の教育方針の大きな柱の中に、体力づくり、健康づくりということが挙げられています。こういった観点から考えますと校庭の広さが重要なポイントとなり、2,750㎡の校庭がとれるA-2案がよいかと思います。鉄棒や砂場などの設備を付けることを考えますと、C案ではかなり窮屈な校庭になるのではないかと思います。また、運動会やサッカークラブの活動、児童数が今後増えることが見込まれていることなどを考えましても、校庭を最大限とれる配置がよいのではないかと考えます。

<委員>

こだま学級のところに、すぐ外に出て遊べるようなスペースがあるとよいかと思います。

<若杉小校長>

どの案を見ましてもそういったスペースは確保できるように見えます。いずれにしましてもそういったスペースは確保していただきたいと思います。

<部会長>

低学年の児童が高学年とは別に遊べるスペースがあることも必要だという考え方もありますので、そういった観点から見るといくつかの案は評価できると思います。

<委員>

A案をとった場合に校庭の北側が開くことで、冬の北風が吹きさらしになるということはないでしょうか。

<若杉小校長>

若杉小学校も杉並第五小学校も北側に校舎があることで、校庭にあまり強く北風は吹かないということは確かにあります。かといって、北側に校舎がないからといって教育活動ができないうことはいいことではないです。

<杉並第五小校長>

杉並第五小の校地は北側がすぐ住宅になっておりますので、校舎がないからといって吹きっさらしになることはないと考えます。それよりも校庭の砂埃がたたないように工夫をすることが大事だと思います。

<部会長>

新しく建物を建てる中で、風を遮る植樹の仕方などはございますでしょうか。

<学識経験者>

厚い壁でなくとも、たとえばメッシュの防風フェンス、これがあるだけで相当風圧は変わるそうです。ですから、海沿いに松の防風林があるように、樹木についてはかなりの防風効果が期待できます。たとえば、冬に葉が落ちてしまう落葉樹は防風効果が期待できないので、常緑樹にする、そういった工夫を検討していくことができると思います。

<部会長>

皆さんA案についてのご意見が多いようですが、何かC案についてご意見はございますでしょうか。

<委員>

私は前回、C案がよいかと思っておりましたが、校長先生のおっしゃるようにグラウンドの形が悪く、狭いため、少し無理があるかなと思います。

<学識経験者>

校庭を見ると確かにA案の方が広くとれるのですが、校舎の使い勝手という観点から見た場合はどうでしょうか。A案は意匠的で面白そうな平面計画になっていますが、実際の使い勝手の面ではどうなのか、C案は非常にシンプルですっきりしているように見えますが建物の面白さはないのか、そういったあたりはどうお考えでしょうか。

<委員>

お隣に直接住宅が接しているところが杉並第五小、若杉小両方にあり、両方ともその部分は、校舎がべったりと建っています。私がもしお隣の住民の方でしたら、目の前が校庭で開けているのがよいのか、それとも開けていて覗かれたりするのが不安であれば校舎があった方が安心

するのか、どちらがよいのかわからないですが、やはり地域と共存していかなければならない学校なので近隣への配慮を考えますと、その辺りはいかがなのでしょう。

<部会長>

開けている場合に植樹などで対応するということはある程度可能ですが、校舎が迫っていて困る、という場合には対応することは難しいです。

さて、先程通用門付近の安全面についてのご意見がございましたが、横断歩道の位置というのは変えられないのでしょうか。

<委員>

北側は信号に付属する横断歩道になっています。

<学校適正配置担当課長>

北側の横断歩道の位置を変えるのは難しいです。ただ、A-1案の給食の搬入口については修正が必要かと思えます。サービス用のエレベーターの位置の関係からこの搬入口の配置になっていますが、エレベーターの位置をずらすことも含めて検討する必要があるかと思えます。

<委員>

南側の校門のところのスペースには車は止められるのですか。

<学校適正配置担当課長>

基本的に教職員の車の通勤は認めておらず、事務用品や給食の搬入のための停車や、緊急車両に限定しておりますので、北側に2、3台停まれる程度のスペースがあれば足りると考えております。保護者の方の自転車置き場につきましては、南門から入ったあたりなどに別途つくる予定です。南門のところのスペースに車を停めるということは考えにくいです。

<委員>

A案のように南門入り口付近に柱が立っているようだと、行事や緊急時の大型車両の搬入が難しいのではないのでしょうか。

<学校適正配置担当課長>

南門をこの位置にしておりますのは自然観察園との連携をよくしたいとの思いからでござい

ましたが、大型車両の搬入を踏まえ、別途考えさせていただきたいと思います。

<部会長>

通用門についてはA案よりC案の方が広いつくりになっています。

また、南門から昇降口に到る動線について考えてみますと、A-1案は遠く、A-2案では短く、A-3案では遠くなっています。C案では校庭を横切るようになっています。

登下校をする動線は、門から入って昇降口に到るまでに樹木の間を通過して、緑を眺められるような形が望ましいですが、統合新校は敷地面積の関係からそういったことは難しくなっています。

この辺りについて皆様ご意見ございますでしょうか。

<若杉小校長>

登下校時の子どもたちの状況を見ていますと、友達を待って、門の付近にたまるといったことがあります。そのことを考えますと、統合新校では車両通行の多い北側の門は使わずに南側の門から登下校するように指導することになると思います。そうすると、南側校門までの道路沿いの緑を充実させていけば、今部会長がおっしゃったイメージをつくっていくことも可能だと思います。

<部会長>

南側の道路に面した敷地境界を豊かにして行って、門から引き込むといった動線をつくるということですね。

中に入ってからスペースの広さという点ではいかがですか。

<若杉小校長>

ウッドデッキに校庭から上がれるようになっていれば、低学年の児童は場合によっては教室のところに下駄箱を置いて、ウッドデッキから出入りするという方法も考えられると思います。

<杉並第五小校長>

大型車の搬入についてはよく考えなければならないと思います。現在南門のところからはハシゴ車が入れなくなっている、と消防から話をいただいております。校門の広さや位置についてはその辺りのことを考えながら検討させていただきたいと思います。

<部会長>

設計事務所はその辺りについてどうお考えですか。

<設計事務所>

大型車が入るためには、まず南側道路に入る口の角を切らなければならないと考えます。それから、門の幅を広げたり、角を切ったまみをつくるなどすれば可能かと思います。

<委員>

南側か東側あたりに大型車両用の門をつくっておくことはできないですか。

<設計事務所>

東側は私道ですのでそういった門をつくるのは難しいです。

<学校適正配置担当課長>

出入りは南側になりますが、そういった車両の搬入について工夫させていただきたいと思えます。

<部会長>

ではその点について解決していただきたいと思えます。

それでは次に、景観という観点について何かご意見ございますでしょうか。

<委員>

児童や保護者は南側から学校を見ることができますが、そうではない人は北側からこの学校を見ることになると思えます。北側の道路から見ると、体育館が建っていて、のっぺらぼうで圧迫感のある風景かと思えます。敷地面積の関係上、言っても仕方がないかと思えますが、何か工夫ができればしていただきたいと思えます。

<若杉小校長>

絵を描くという方法もありますね。

<部会長>

バス通り側からしかこの学校を見ない方にとっては、北側の部分が顔となりますので、それ

なりのデザインにさせていただきたいと思います。体育館を夜間に使っている人の光が漏れているとことでやさしい表情を出るとか、いろいろなことがあると思います。ただ体育館の裏が見えているというのではなくて、街に対して語りかけるような、この学校ならではの体育館にさせていただきたいと思います。

それでは内部の方に入りまして、普通教室の設置階、これは非常に重要だと思います。A-1案、A-2案については4階にも普通教室があるという形になっています。その辺りについて皆様ご意見ございますでしょうか。

<若杉小校長>

本来、1年生はアサガオの栽培などもあり陽だまりのよい校庭に出て水をあげられるというような形が望ましいと思いますが、実際に今の若杉小も1年生は2階にいるという状況にあり、必ずしも1階でなくてはならないということはないと考えます。

ただ、こだま学級については必ず1階に設置させていただきたいという思いがあります。多様な障害の子どもたちの中には歩くのが難しい子どももいます。もちろんバリアフリーでつくっていただけたらと思うのですが、階段の上り下りでかなり時間がかかってしまうということもありますので、こだま学級は必ず1階にさせていただきたいと思います。

こだま学級は2学級ありますが、2学級分の普通教室と、プレイルーム、給食室、和室、トイレ、シャワーというようになかなりの面積をとります。それを最大限コンパクトにして、3教室分ぐらいに抑えたとしても、かなり1階の中のスペースをとることになります。

また、こだま学級には多様な子どもがおりますので、時として大きな音や声が出ることも考えられますので、管理諸室や具合の悪い子どもが寝ている保健室などからは少し離して配置した方がよいかと思います。

それらのことを考え合わせますと、普通教室を1階に置くことは難しいと思います。昨日も、区内の小学校に男が塀を乗り越えて侵入したという事件があったという状況の中では、子どもたちの教室は2階以上に置いた方がよいと考えます。私個人としましては、それに加えて校庭が最大限とれる配置案がよいかと思います。

<部会長>

そうすると教室が4階にある案が浮上してくるかと思います。

<若杉小校長>

そうですね。

<部会長>

何をとるかという問題になると思いますが、校長先生はこだま学級の配置のみについて考えるとどの案がよろしいとお考えですか。

<若杉小校長>

ほとんどの配置検討案がそうなっていますように、南側に面した校舎の端のところに位置するのがよろしいかと思います。物音に非常に敏感な子どももおりますので、日常的によく音の出る施設からは離れた方がよいと思います。また、A-3案は朝しか陽が当たらないので、できれば南側の設置をお願いしたいと思います。

<部会長>

1階に普通教室を置かないことによって4階に普通教室が浮上してまいります、そのことについては何かご意見ございますでしょうか。

<委員>

保護者会でアンケートをとったところ、低学年の保護者からは4階で5、6年生が勉強するのは心配だという声があり、高学年の保護者からは比較的、4階に5、6年生が居ても構わないという声がありました。

<委員>

先程校長先生がおっしゃいましたが、やはり不審者は1階から入ってくるわけですから、2階以上に教室があれば時間が稼げますので、私は低学年でも教室は2階がよいと思います。

そこで、校務センターや警備室、事務室などを建物の出入口の近くに置いて、監視することが重要になってきます。

<部会長>

それでは校務センターの位置について、各案見ていきたいと思います。A-1案ですと正門からすぐ近いところ、A-2案、A-3案では正門から奥のところ、C-1案では西側にあり、C-2案では南側の校庭に面したところにあります。何かご意見ございますでしょうか。

<杉並第五小校長>

先程の話ですが、先日、江東区の学校にいつてまいりましたところ、6階建てで2～5階に

普通教室がありました。1階に普通教室を置かないということについては私も異論がありません。防犯面でのよさがあることと、慣れてしまえば児童も困ることはないということ、校庭の面積を確保するためにそういった建て方になったことなどを聞きました。

こだま学級を2階以上に置きますと、児童が2階から降りる時には、一人はおんぶし、一人は手をつなぐといった形になり、大変です。また、防犯面から校務スペースを2階に上げるのは難しいということもあり、それらの観点からも2階以上に普通教室を置くことが望ましいと考えます。

<若杉小校長>

不審者の侵入からの安全面を考えますと、2階のバルコニーから地上に降りる階段について、位置を校務センターの目の前に持ってくるなど、工夫した方がよいかと思えます。

校務センター自体はA-1案のように昇降口と校門が一番近い形が望ましいですが、A-2案のように事務室と校務センターで昇降口を挟んで見るというのも防犯性は高いと思えます。

校務センターが校門から遠いところになっても、事務室、主事室は必ず校門に近いところに配置するとよいと思えます。今年度来年度は警備の方が配置されるということですので、警備の方がいれば、そういったことも軽減されるかと思えます。

<委員>

お話を聞いていますと、ベランダの階段の位置についてずらすことができれば、A-2が正論的な見地から言ってよいのではないかと感じました。

ただ一点、A案について心配なのは、校庭の子どもの声が北側の方へ直接通ることです。先程風についてはネットや樹木によってある程度遮ることができるかとありましたが、音についても同じように考えてよろしいのでしょうか。

<委員>

関連して質問しますが、校庭は将来芝生化されるのですか。

<学校適正配置担当課長>

基本的には緑化をしていきたいと考えております。芝生も選択肢のひとつですが、もう少しタフなもので緑化することも検討しております。昭和記念公園の立川口から入っていったところに実験として今植えられていますが、荻窪小学校はその形で緑化しようと考えております。

管理が非常に大変ですが、近隣への砂埃の関係もありますし、芝生化している和泉小学校で

はケガが少なくなってきたなど、教育上の効果も出てきておりますので、緑化を基本的に考えていきたいと思えます。

<委員>

芝生を維持するための薬剤散布などは行うのですか。薬剤を散布した場合、風によって民家の方になってしまうのではないかと心配があります。

<学校適正配置担当課長>

区内で芝生化している学校につきましては薬剤散布はしておりません。仮にやむを得ず散布をする場合は教育委員会と学校で判断するということになっております。確かに1日、2日で全滅するという危険性はあるのですが、基本的には薬剤を撒かないでやっていきたいと考えております。

学校を建てる際に近隣の皆様から最もご意見をいただきますのは日照の関係になります。日照というのは人が暮らしていく上で非常に重要な要素となります。

確かに音の問題もあります。樹木だけではあまり遮音効果は期待できませんが、学校の子どもの声がうるさいというのは、学校をつくるなということになります。街の中に子どもの声が響かない街は、ある意味問題があるのではないかと私は思います。その辺りについては近隣の皆様には一定のご理解をいただきたいと考えております。

音と日照とどちらを優先させるかという話にもなりますが、学校を建てる際にご意見をいただくのはだいたい日照の関係でございます。そういったことから、子どもたちの声については多少はご勘弁いただきたいと考えております。

<若杉小校長>

子どもから覗かれるのではないかと近隣からのご意見により、北側の窓が全て擦りガラスになっている学校もありました。どのような配置にしても、メリットデメリットは出てきてしまいますが、日照という面はやはり大きいのではないかとと思います。

<学校適正配置担当課長>

たとえば子どもの視線の高さを擦りガラスにしたり滑り出しの窓にするなど、そういった配慮の方法もございます。

<部会長>

それでは、お一人ずつご意見をおっしゃっていただけますでしょうか。

<委員>

私はA-2案が一番よいと思います。校庭が一番広くとれること、北側の通用門付近が後からの変更で使いやすくできること、南門も校庭の方に向かって大きくつくり変えることが可能な点がよいと思います。

また、普通教室のジグザグの配置はよいと思いますが、ベランダについてはフラットな線にしてもよろしいのではないかと思います。また、普通教室の境目などは可動式などにできるのでしょうか。

<部会長>

そういった詳細なことについては今後調整が可能です。ご意見があったということで記録に残していただきたいと思います。

<若杉小校長>

私は先程から申し上げておりますとおり、A-2案がよろしいのではないかと思います。

<杉並第五小校長>

私も先程お話ししましたとおり、校庭の広さ、こだま学級のことを考えるとA-2案がよろしいと思います。

<委員>

私もA-2案がよいと思います。

<委員>

私も校庭が最大限とれるA-2案がよいと思います。門の位置、形状については検討していただきたいと思います。また、オープンスペースの形もジグザグになりますので、この形が使いやすいのかどうかは先生方にお伺いしたいと思いますが、校舎の配置としてはA-2案が良いと思います。

<委員>

元々はC案がよいと思っていましたが、日照への配慮から4階が事実上使えないということ

から、仕方がないかなと思います。A案に異を唱えるつもりはございません。

<委員>

A-1案とA-2案の100㎡の差が実際どのようなものかということがありますが、100㎡の差にこだわらず、こだま学級の子どもたちが中庭で遊べるのであれば、A-1案がよいのではないかと思います。

<部会長>

A-1案は校庭から昇降口とホールと中庭がつながっており、そういった視覚的な空間の広がりも考えますと100㎡程の差は緩和できるかと思います。この数値だけに捉われるのではなく、100㎡ぐらいは誤差範囲だと思っていただければよいと思います。

<委員>

その100㎡に鉄棒を置くなどの話でなければ、私は誤差範囲と考えたいと思います。

<委員>

中庭という案は他にないので、A-1案を私も推したいと思います。

<委員>

校庭を最大限にとれるA-2案か中庭が魅力的なA-1案で、どちらもよいかなと思います。

<委員>

私はA-2案がよいと思います。ピロティの柱を工夫して校庭をもっと広々した感じに使えるようになればよいと思います。

また、専門的なことなので分かりませんが、教室がジグザグになったことで、教室から教室への距離が少し長くなり、防音効果も少しは期待できるのではないかと思います。できれば教室と教室の間に可動式の壁などを設けて、必要のない時は閉じるというようになればよいと思います。

<委員>

私は最初からグラウンドが広くほしい一心だったのですが、このA-1案の中庭と昇降口のつくり方は随分広く感じられると思います。また、この中庭も小さな校庭として使うことができ

れば、また違った角度からの面白さが出てくるかと思しますので、A-1案がよいかと思います。

<委員>

この両校の統合にあたりまして、最大の課題はグラウンドの広さだったと思います。ですから私は一番グラウンドの広くとれるA-2案がよいと考えます。

<委員>

私もA-2案がよいと思います。また、教室がジグザグになったことで、教室が真南を向いている形になった、この点は大変高く評価させていただきたいと思います。

それから、全体的な要望ですが、職員室や事務室からの死角をなくしていただきたいことと、メインとなる階段については、少し面積を広くとり、緩やかにしていただきたいと思います。

<委員>

私は前回C案を推した一人ですが、いかんせんグラウンドが狭すぎますので、A-2案を推したいと思います。A-2案について、デッキバルコニーからグラウンドに降りる非常階段が南側についているのを保健室や職員室の方に移せないか、また、西側にも非常階段を設けることができないかと思います。

<委員>

私は単純に人数が増えるということを考えて、A-2案を推したいと思います。

<部会長>

ありがとうございました。A-2案が多数の様ですが、今日の皆様のご意見をしっかり記録させていただいて、A-2案を骨格としつつも、A-1案のよいところを取り込みながら、案の内容を高めていくという形で進めさせていただきたいと考えます。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、少し気になった点をお話させていただきますと、地下の使い方について、前回も委員の方からもっと広く、有効に地下を使ってもよいのではないかという意見がございましたが、今回の案ではまだ消極的かと思います。

機械室や倉庫などを押し込めているだけではない、積極的な地下の活用を、エコスクール化検討懇談会とも連動して検討し、案を高めていきたいと考えますが、何か地下についてご意見

ございますでしょうか。

<若杉小校長>

A-2案で考えますとこだま学級の前にメモリアルホールがありますが、こだま学級の前に設置するのは検討が必要ではないかということと、両校に残されている記念のもの、これは相当に大量にございまして、整理整頓しても1教室の中に入るか入らないかという状態ですので、どういう採光条件になるか分かりませんが、それらを地下に配置するというのも一案かと思えます。

<部会長>

ショーケースを置いたりするだけのスペースではなく、きちんとメモリアルのスペースをとって、同窓会の集まりに使いたりするような開かれたスペースにした方が皆さんに喜ばれるのではないかと思います。無理に1階に置かなくても、地下に置いて、そういった活用をするという方法もあるのではないかと思います。

それではラーニングセンターについてはいかがでしょうか。A-2案ですと3,4年生の近くにあるようですが、この配置の仕方について設計事務所から何かございますか。

<設計事務所>

ラーニングセンターは基本的には中・高学年が使用するものとお聞きしておりますので、3,4年生の教室の近くか、5,6年生の教室の近くに配置するのが望ましいと思います。このA-2案では3階の3,4年生の近くで、2階からも4階からも遠くなりすぎない、学校の中心の部分に配置していることとなります。

<部会長>

先生方、この配置についていかがでしょうか。

<若杉小校長>

2階か3階がよろしいかと思います。低学年も図書室としてのラーニングセンターの機能を使いますので2階に配置するのもよいと思います。また、2階に理科室が入っておりますが、低学年は理科室での授業がありませんので、場合によっては4階の音楽室と位置を交換するなどしてもよいと思います。音楽室は音の問題がありますので、一概には言えませんが。

<杉並第五小校長>

図書室としての機能を重要視して考えますと、2階がよいのではないかと思います。

<委員>

地下の活用に関連して、PTA室について意見を述べさせていただきます。最近の新しい学校の中では開放会議室をPTA室として使用している例が多くありますが、これは物を置いたりする場合に使いづらいということがあります。かなり物を置いて作業をすることが多いので、地下につくって物が置けるように広くスペースをとっていただけたらよいのではないかと思います。

<若杉小校長>

地下でもよいのですが、和室をつくっていただけたらと思います。杉並第五小でも若杉小でも琴の授業を行う時に、音楽室で立つて行わなければならない状況ですし、茶花道についても天沼中学校で盛んに行われているようですので、和の文化を学ぶ場として、また、いろいろとお話ができるような場として、ご検討いただければと思います。

<委員>

メモリアルホールについてですが、私、同窓会の立場から、新しい統合新校をつくるにあたりまして、やれ杉五だとか若杉だとかはもうやめようと、新しい学校をつくろう、ということですから、どうも学校に入ってきたところにメモリアルなものがいきなりあるというのは、少しどうかと思います。

1階のレイアウトは非常に窮屈ですから、校長先生のおっしゃるように、倉庫的なものを地下につくっていただければと思います。両校の伝統というのは教育の内容に生かしていただければよいのであって、これから統合新校に通ってくる子どもたちにとっては杉五も若杉も関係ないので、メモリアルホールは地下に置くのがよいと私は思います。

<委員>

A-2案ですと、アリーナの入り口とこだま学級が近くなっていますので、こだま学級の先生にぜひ相談していただいて、工夫していただければと思います。

<学識経験者>

今日の資料の中の比較検討表というものについて、この中に緑化についての項目をつくって

位置付けをしっかりとしていただきたいと思います。

その中で明確に位置付けていただきたいのは、限られた敷地の中で、学校の教育プログラムにどう活かすか、地域の取り組みにどう活かすか、ということがまず一点、次回までにできないのであれば、検討課題として明記して下さい。

また、たとえば風よけとして樹木を植えたときに見通しが悪くなる可能性や、落葉について地域の人がゴミと考えるか、風物詩と考えるかなど、一つの目的だけで樹木を植えると後で別の面でお荷物になってしまう場合もありますので、機能と管理、これも非常に大事ですので、しっかり位置付けを行っていただきたいと思います。

<部会長>

今後建物については、事務局と設計事務所で詰めていっていただければと思いますが、これから新しい学校を運営していく上で、子どもたちがどう緑と関わり、教育の中にどう取り込んで、育てていき、どう維持していくか、それは重要なことになりますので、今回はこの辺を重点的にお話したいと思います。

<学識経験者>

既存の樹木の中で記念樹、残したい樹木などがあれば、整理していただければと思います。

<部会長>

ありがとうございました。今日もたくさんのご意見を頂戴しまして、A-2案をベースにしつつも、A-1案のよいところを取り入れながら、より内容を高めていくということで、建物だけではなく、周りの植栽についてもよく考えていく、地下についてももっと積極的に考えていく、ということで本日のまとめとさせていただきますと思います。

4 事務局からの連絡事項

今回は3月16日（金）杉並第五小1階多目的室で行います。

5 閉会